

# 音楽と踊りの ハーモニー



ま  
る  
ど  
と  
り  
ん  
ご  
ど



第 39 号

2016年11月10日発行

社会福祉法人ジェイエー長野会  
特別養護老人ホーム  
りんごの郷

発行責任者：千野 真

10月13日に、何度もお越しいただいているボランティア  
ア一二三会（ひふみかい）の皆さんにより、音楽や踊り  
を披露いただきました。

音楽や踊りといっても、バラエティが豊富！

童謡を歌いながら、自分や隣の人の肩叩き。昔を懐か  
しんで、白無垢やお色直しのあでやかな着物のお披露目。

白無垢からの一転お色直しの際は、「おおっ!!」と一同うつと  
り顔。歌舞伎の話の舞踊の次は、ハーモニカの生演奏に秋の  
歌を合唱。さらに、まだまだ続きます。

昭和歌謡を音楽にダンスを行い、続いてはハーモニカ演奏  
で鉄道に関する歌のメドレーともそのままに話。フラダンスで  
ゆったりと心地よくなった後は、誰もが聞いたことのある花  
笠音頭でダンベル体操。最後は、全員で「ふるさと」の大合唱！  
あつと言う間に時間が過ぎました。

次から次へと変わる内容に、利用者さんは「次は何？次は  
何をやるの？」と言わんばかりに真剣な表情で楽しまれ、懐  
かしい音楽や着物の話に、最初は静かに見ていた方も一緒に  
合唱し大盛況。

やはり、昔懐かしの思い出深いものは、利用者皆さんの心  
に響きます。

楽しいひとときを、ありがとうございました。

# んごの郷祭り!

今年も無事、りんごの郷祭りを開催する事が出来ました。今年も台風も多く荒れた天気が続き、前日まで心配していましたが、当日を迎えると見事な晴天となりました。ちまたのウワサでは、当施設長の千野は、晴れ男との事でその実力が伺えます。



さて、当日ですが、まずは職員とボランティア学生が扮するチンドン屋からスタートしました。特殊メイクを施したその顔や、大きな音楽と音で利用者さんをお迎えしました。普段と違った雰囲気、利用者さんは驚き、すぐさま笑顔がこぼれ、大きな笑いと拍手が巻き起こりました。



開会式では、今年度の敬老のお祝いを行いました。1名が百寿、3名が米寿を迎えられました。皆さん、いつまでも元気で長生きして下さいね。



# 天気も味方!り

昼食は、バイキング形式で行いました。たくさんのメニューから好きな物を選んで頂きました。デザートケーキの種類も豊富です。女性の方は特有の「別腹」というもので、ケーキをいっぱい召し上がられました。甘い物はやっぱりおいしいですね。

外の模擬店では、ニラせんべい、綿あめ、ラーメン、鳥のから揚げ、おやき、生ジュース、豆腐アイスに飲料と盛り沢山の屋台が出店され、どれも美味しそうでした。



午後になると屋外の会場では、職員によるアトラクションが披露されました。特に「ソーラン節」では利用者さんも一緒に参加され楽しんで頂きました。「尻相撲」では優勝候補の職員を抑えて、利用者さんのご家族が優勝しました。とても強く、職員も悔しそうでした。

研修室では、新生病院の看護師による講演「施設における看取り医療について」が開講されました。病院、施設、在宅を踏まえての貴重なお話をいただきました。

最後になりますが、利用者さん、ご家族、そして地域の皆様のおかげで盛大に行うことができました。本当にありがとうございました。りんごの郷祭りの目的でもある利用者さんにご家族の更なる絆を深める機会が提供できました。今後も地域の方々との交流を通じ、親しまれ信頼される施設になれるよう、努力していきたいと思っております。

(職員一同)

# もきたたてニュース

## お盆

**迎え火**…8月13日にはお盆行事である迎え火に、多くの利用者さんが参加され、かんばを燃やし手を合わせました。「このあかりでおいでやれ、おいでやれ！」と歌声が聞こえ、時にはうっすらと涙を浮かべる利用者さんもいらっしゃいました。迎え火が終わったあと利用者さんに感想をお聞きすると微笑みながら「よかった」と声が聞こえました。



**送り盆**…8月16日、利用者さんと一緒に、送り火を行いました。毎年、施設では恒例行事となっていますが、カンバを焚き、皆様一人ひとり静かに手を合わせました。当日は風がとても強く、悪天候の中で行いましたが、たくさんご利用者さんにご参加頂きました。今回参加された方はもちろんですが、参加できなかった方も、ぜひ来年は参加いただき、夏の風物詩として少しでも感じ取って頂ければ幸いです。

## 願いを込めて・・・

**利用者さん**に短冊に願い事を書いて頂き、笹に願いを込めて飾り付けをしました。

お一人お一人の願い、きっと天に届いたのではないのでしょうか！



## よってけや

**お菓子販売の『よってけや』**を6月21日、8月23日に行いました。もうすっかり恒例行事となりました。昼食の後、14時から開店になります。開店1時間前から首をながくして待つている方がいるほど人気の行事です。「農協の窓口」と称した場所でお金を受け取って、職員と相談しながらショッピングを楽しみました。





# ボランティア通信

須坂看護専門学校医療専門課程看護学科の皆さんが、夏休み期間中を利用してボランティアに来てくださいました。

ボランティアでどのようなことをしたいのかと伺ったところ、施設で暮らしている方の様子を理解したいというお話だったので、利用者さんへのアンケートの聞き取り調査をお願いしました。利用者さん一人ひとりに施設での生活のご意見を伺う仕事です。

最初は項目どおりに答えていただけなかったり、昔話になってしまったりと苦労されていた様子でしたが質問の伝え方を変えたり、試行錯誤しながら取り組んでくださいました。



ある学生の方から聞き取る人数を重視しますか、それとも傾聴を兼ねた時間を重視しますかと問われ、話を聞いてもらっている利用者さんの様子はどうですか？と逆に質問したところ、皆さん嬉々として話をして下さり誰かと話したいんだなあと感じました。とのことでした。

寂しいことです。施設ではなかなか話を聞いてくれる人(時間)がないので、こうやって話を聞いてくれる方が来てくださるとありがたいことや、せっかくの機会なのでゆっくり話を聞いてさしあげてほしいこと、欲を言えばそういう機会を少しでも大勢の方に提供したいと思ってしまうのですが…ということを伝えました。学生さんは人数にかまわずゆっくり聞き取ってよいと知ると、皆さん笑顔でよかったと言ってくれました。

機械的な作業ではなく、聴くということに触れ合う機会をよかったという言葉で表現してくださったと思います。本当に真



摯に利用者さんと向き合い、利用者さんの生の声を聞き取ってくださいました。ありがとうございました。





# ボランティヤ通信

## 傾聴ボランティア

J A 女性部による傾聴ボランティアが、8月4日(木)に早朝施設の草取り後に活動してくださいました。

活動後のお話を伺ったところ、特に何もお聴きできなかったけれど一緒に笑っていてくださった。穏やかな時間が過ごせました。とのことでした。

その利用者さんがボランティアさんとの時間を喜んでおられたのは様子から察せられました。穏やかな時間を共有していただき利用者さんが喜んでおられたことを伝えると、お伺いしてもなかなか返事がなくて困ったなあと思っていたのですが、私の手を握って笑ってくださいっていたので私も手を握り返したんです。少しですがうなずかれたり短い返

事をいただけたり、逆にこちらが

温かく見守られているように感じた。と感想をおっしゃられました。

ほかのボランティアの方からも来るたびに気付かされたり発見があったり、本当にいい勉強になります。来る前は緊張したりしますが有意義な時間です、とってくださいました。時間を共有することの大切さを利用者さん、ボランティアさんから学ばせていただいた時間でもありました。

利用者さんに良く、ボランティアさんに良く、事業者によくと三方でよい時間を過ごせました。ありがとうございました。



# おねがい

・今年も感染症（インフルエンザ・ノロウイルス等）が流行する時期を迎えました。当施設におきましても、感染予防対策として面会時にマスクの着用をお願い致します。マスクに関しては面会時ご持参いただけるよう、ご協力をお願い致します。又、施設玄関において出入りの際アルコール消毒器で手指消毒もお願い致します。面会ですが11月より面会場所を制限させていただきますので、事務所へお声かけ下さい。流行状況によって制限させていただく場合があることもご了承下さい。

尚、お身体の調子が優れない（寒気・吐き気・風邪等）方のご面会は控えていただきますようご理解・ご協力の程宜しくお願い致します。

・季節の変わり目に当たり秋冬物への入れ替えをお願いいたします。衣類につきましては消耗品なので、痛み具合により修繕や新調のご検討も合わせてお願いいたします。また、新調される場合着用しやすい（伸縮性や素材）を考慮し選んで頂ければ幸いです。

## 施設理念

私たちは、利用者さん一人ひとりの個性と生き方を尊重し、安心して生活が送れるよう、より良いサービスの提供に努めます。また、地域の社会福祉活動や家庭介護の拠点として、地域の皆様に愛され、信頼される施設を目指します。

